

令和7年度 上富田町立岩田小学校(学校経営方針)スクールプラン

上富田町「めざす子ども像」

- すすんで考える子
- 心豊かに活動する子
- 体をきたえる元気な子
- ふるさとを誇りに思う子
- 視野を広くもつ子

【学校教育目標】

確かな学力、豊かな心、健やかな身体、
社会性と共生する力を育てる

【めざす「岩田っ子」像】

- い いつも元気なあいさつができる子
- わ わかるまでがんばる子
- だ だれにでも優しい子
- っ つよい心と体を持つ子
- こ ことばづかいに気を配る子

前年度の学校評価

- 良好な集団づくりかできている
- さらなる自己学習力の向上を目指す
- 運動（外遊び）の習慣化を励行
- 地域連携を工夫・改善

児童の実態

- 学年を越えて親しく交流ができる
- 学力の定着・向上の取組を継続
- 主体的な学びをさらに推進
- 運動習慣、体力面の課題解決

保護者・地域の願い

- 子供の学習意欲を引き出してほしい
- 子供の思いを大切にした教育活動をしてほしい
- 郷土の歴史や文化に関心をもってほしい

重点目標

確かな学力の定着

- 主体的・対話的に学ぶ授業
- 自己学習力の形成
- ICT・タブレット端末の活用
- 学習調査・到達度調査等の活用

豊かでしなやかな心の育成

- 人権・道徳教育の充実、いじめの未然防止、早期対応
- 読書活動の推進
- 特別支援学校や幼稚園との連携

健やかな身体の育成

- 望ましい生活習慣の確立
- 運動習慣の確立／体力の向上
- 危機対応・回避能力の育成
- 食育の推進

社会性と共生する力の育成

- 学校生活や社会生活上のルールを遵守する態度の育成
- 地域連携を工夫・改善
- 異学年間、異校種間交流の充実
- 地域学習や社会見学の充実

具体的な取組

- ・「和歌山の授業づくり3か条」主体的・対話的で深い学びのある授業を研究する・若手教員の育成
- ・言語活動を充実させ、国語を基盤として全ての教科の底上げを図る
- ・タブレット活用、実践事例の共有
- ・自分（たち）で学習を進める、自学（予習・復習）できる力を育てる
- ・諸調査の分析結果を個や学年の状況に応じた指導に反映させる

- ・人権教育を教育活動の基盤とし、道徳を教科指導の要としながら学級経営、生徒指導の充実を図る。
- ・いじめアンケート（学期毎）により未然防止、早期対応に努める
- ・図書環境の更なる整備、蔵書増、教科指導と関連付けた読書活動の充実
- ・特別支援学校や幼稚園との交流を充実させる

- ・「早ね・早おき・朝ごはん」基本的な生活習慣の徹底。
- ・適切な端末利用、ネットモラルを身につけさせる。
- ・体育科授業の工夫、運動量の確保
- ・朝のランニングタイムの実施
- ・感染症予防、熱中症予防、交通安全等安全確保、危機対応能力を育成する。
- ・給食、食育を通してバランスのとれた食生活を奨励する

- ・校内外の活動や交流を通して、学校や地域の構成員としての自覚を養い、共生のための工夫や自らの役割について考え、取り組むことができる。
- ・縦割り班活動や隣接学年、1年生と6年生などの異学年間の交流、中学校等との交流の充実を図る
- ・地域学習や地域の人材を教育活動に取り入れることで、地域への愛着を育む・ふるさと学習

指標

- ・授業アンケート 3か条、話し合い、分かる、ICT活用等(児童85%)
- ・国語科研究授業1人1回以上・外部講師招聘校内研修3回以上実施)
- ・学力調査結果が県平均以上

- ・道徳・生活アンケート(保護者・児童 90%)
- ・いじめ解消率(児童 100%)
- ・読書活動アンケート(児童 80%)
- ・図書館環境整備、選書会実施
- ・支援学校、幼稚園との交流実施

- ・基本的な生活習慣の実態把握／メディアリテラシーを含んだ講演会実施
- ・運動習慣アンケート(保護者・児童80%)
- ・危機対応能力の向上(訓練や集会、学級指導の実施)

- ・集団づくり、教育活動や行事の工夫に関するアンケート(保護者 90%)
- ・地域人材の活用、連携を工夫
- ・地域学習、社会見学の充実

◎…特に重点的に取り組むこと